

2014年2月期 3Q決算補足資料

イオンディライト株式会社 

2014年1月8日

2014年2月期 3Q決算ポイント

- **4期連続の増収増益を達成。売上総利率が前年比1.0ポイント上昇。**
- 12月20日にイオンのフラッグシップとなる日本最大規模の大型商業施設「**イオンモール幕張新都心**」のグランドオープンに向け、総合FMSを提供。
- **再生可能エネルギーメンテナンス市場を視野に、静岡県菊川市にてリサイクルワン他数社とのJVにより、メガソーラーの管理運営の新会社を設立。発電効率に大きく影響する周辺設備のメンテナンス業務を受託。**
ノウハウの蓄積により、エネルギーのトータルソリューションを拡大
- **中国・アセアンにおける総合FMS事業を積極的に推進。**中国では、**134**物件、マレーシアで**39**物件まで拡大。ベトナムでは、**21**物件にまで拡大するとともに2014年1月開業のイオン1号店に向けた準備を推進。
- **2014年4月発表予定の、新中期経営計画(2014-2016)の策定を進行**
ITを駆使した自動制御や遠隔監視による設備管理の推進、管理一体型ESCO事業、空間洗浄を含む衛生清掃など、新たな取り組みにも着手

業績について： 4期連続で増収・増益達成

売上高 前年同期比 **101.3%**
 売上総利益率 **11.8%→12.8%**
 営業利益 前年同期比 **105.5%**

単位:百万円

	2014年2月期 3Q実績					
	前年3Q実績	売上比 (%)	今期3Q実績	売上比 (%)	前年比 (%)	前年差
売上高	192,391	100.0	194,808	100.0	101.3	+2,417
売上総利益	22,772	11.8	24,965	12.8	109.6	+2,193
営業利益	10,402	5.4	10,970	5.6	105.5	+567
経常利益	10,412	5.4	10,982	5.6	105.5	+570
当期純利益	5,505	2.9	5,804	3.0	105.4	+298

セグメント別評価(売上高)

昨年のLED工事の反動を受けた建設施工以外は**全て増収**
サポート事業、前年同期比**128.2%**

単位:百万円

	2014年2月期 3Q実績			2013年2月期 3Q実績	
	売上高	構成比 (%)	前年比 (%)	売上高	構成比 (%)
設備管理事業	32,668	16.8	102.8	31,770	16.5
清掃事業	31,666	16.3	104.1	30,411	15.8
警備事業	25,286	13.0	106.4	23,773	12.4
建設施工事業	38,071	19.5	83.2	45,732	23.8
資材事業	33,286	17.1	113.4	29,351	15.3
自販機事業	23,693	12.2	100.8	23,498	12.2
サポート事業	10,001	5.1	128.2	7,799	4.1

セグメント別事業概要 ～事業構造改革を推進～

設備管理事業

冷凍冷蔵設備の制御機能を開発し、BEMS導入を強化。データの蓄積により、**独自のエネルギー管理支援サービス**の構築を推進。

清掃事業

委託先集約による清掃ノウハウの水平展開で、**品質の向上と生産性の標準化**を推進。トイレ革命は14台設置し量産準備。

警備事業

女性警備員アテンダーによる“おもてなしの心”のサービスを拡充
最先端セキュリティシステム(コックピット化)の標準モデル構築を推進。

建設施工事業

イオングループ内の**維持・計画修繕工事が堅調**。イオンでの省エネ関連工事の実績を元に、イオングループ外への営業活動を推進。

資材関連事業

新たにイオングループ入りしたお客さまへの包装資材・衛生資材の拡販を推進。フードパックの**需要集約**推進。

自販機事業

電子マネー対応機器・低価格自販機による新規開拓、またイオングループへの拡販により、**3Q累計で2,000台の純増**。

サポート事業

生活支援サービス **前年比176.6%**、家事代行をパッケージ化した「**家事玄人**」が、**ライフスタイル多様化に合致し、大ヒット**。

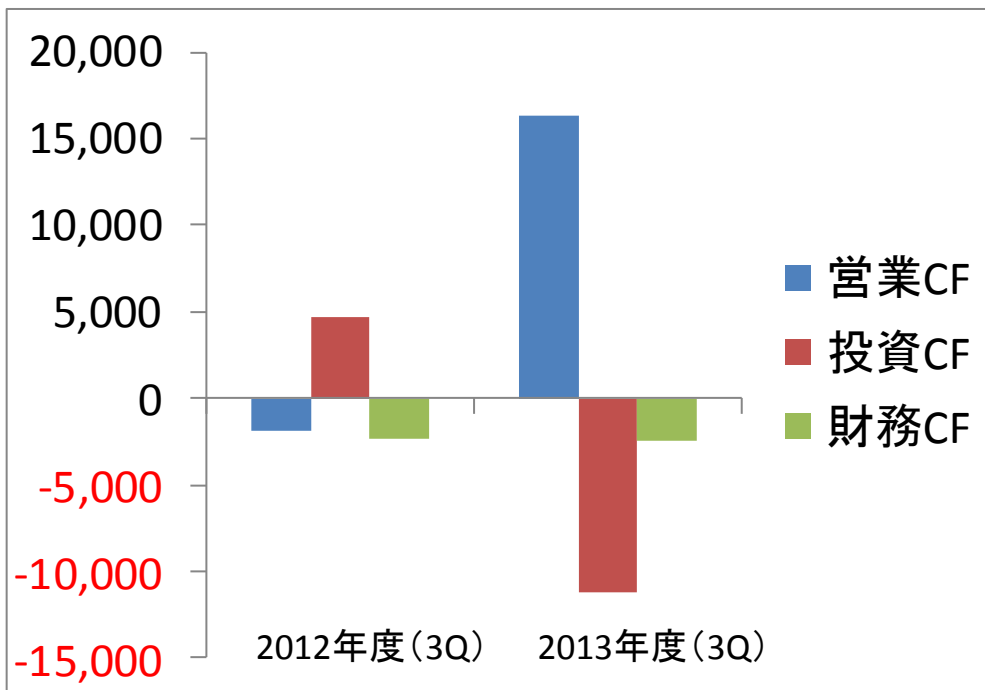
連結貸借対照表 3Q(2013/11月末)

単位:百万円

	2013年 2月28日	2013年 11月30日	増減額		2013年 2月28日	2013年 11月30日	増減額
流動資産	79,323	90,579	11,255	流動負債	34,955	42,328	7,372
固定資産	21,375	22,008	632	固定負債	1,195	1,520	324
有形固定資産	3,796	4,192	395	負債合計	36,151	43,849	7,697
無形固定資産	12,321	11,883	△438				
投資等	5,257	5,933	675	純資産合計	64,547	68,738	4,190
資産合計	100,699	112,587	11,888	負債・純資産合計	100,699	112,587	11,888

・流動資産の増加要因: 現預金・売掛金の増加

連結キャッシュフロー（2014年2月期3Q）



主な増減要因

【営業活動CF】 16,301百万円

税引前当期純利益	10,660百万円
売上債権減	2,274百万円
仕入債務増	6,171百万円

【投資活動CF】 △11,198百万円

関係会社消費寄託による支出	△159,000百万円
関係会社消費寄託返還収入	149,400百万円

【財務活動CF】 △2,489百万円

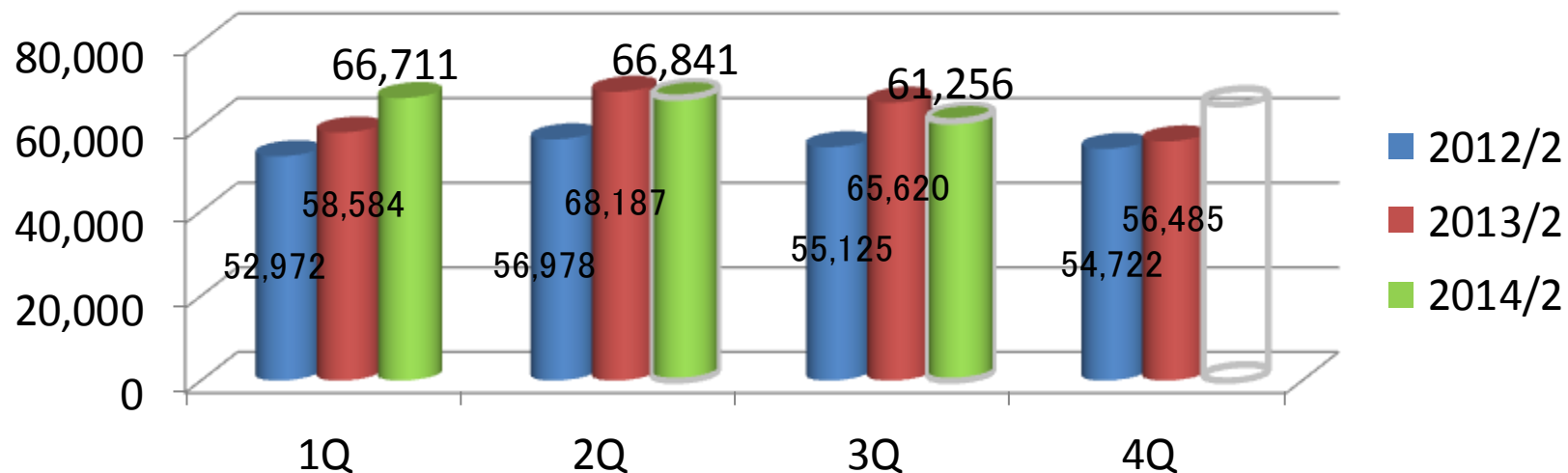
支払配当金	△2,456百万円
-------	-----------

	2013/2 3Q	2014/2 3Q	増減
営業活動キャッシュ・フロー	△1,899	16,301	18,200
投資活動キャッシュ・フロー	4,663	△11,198	△6,535
財務活動キャッシュ・フロー	△2,301	△2,489	△188
現金及び現金同等物期末残高	9,595	12,406	2,811

過去3ヵ年の四半期推移:売上高

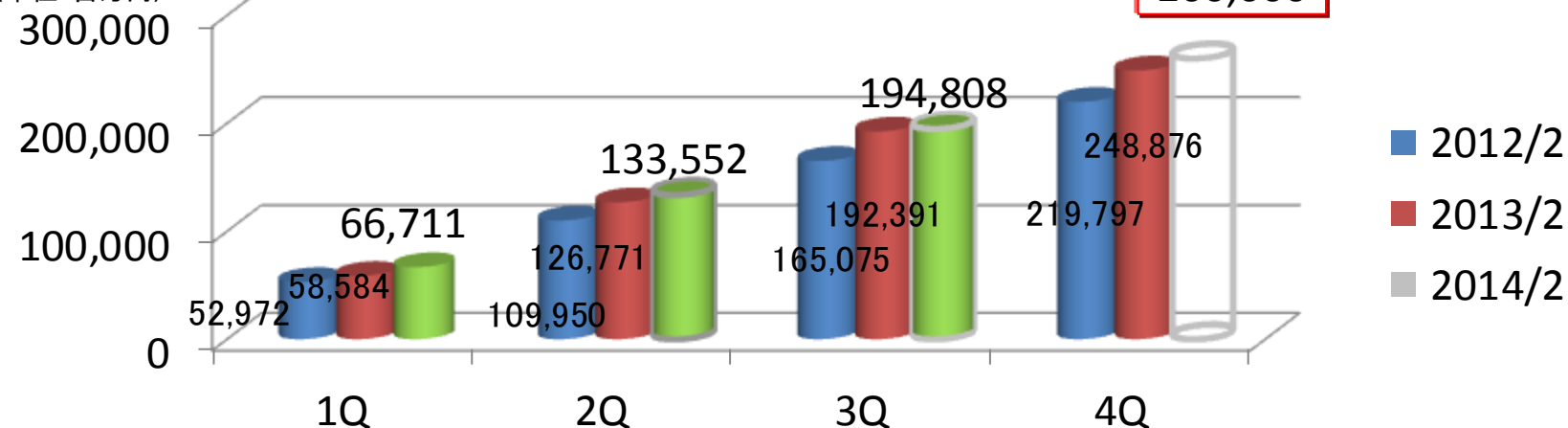
四半期 期間売上高推移

(単位:百万円)



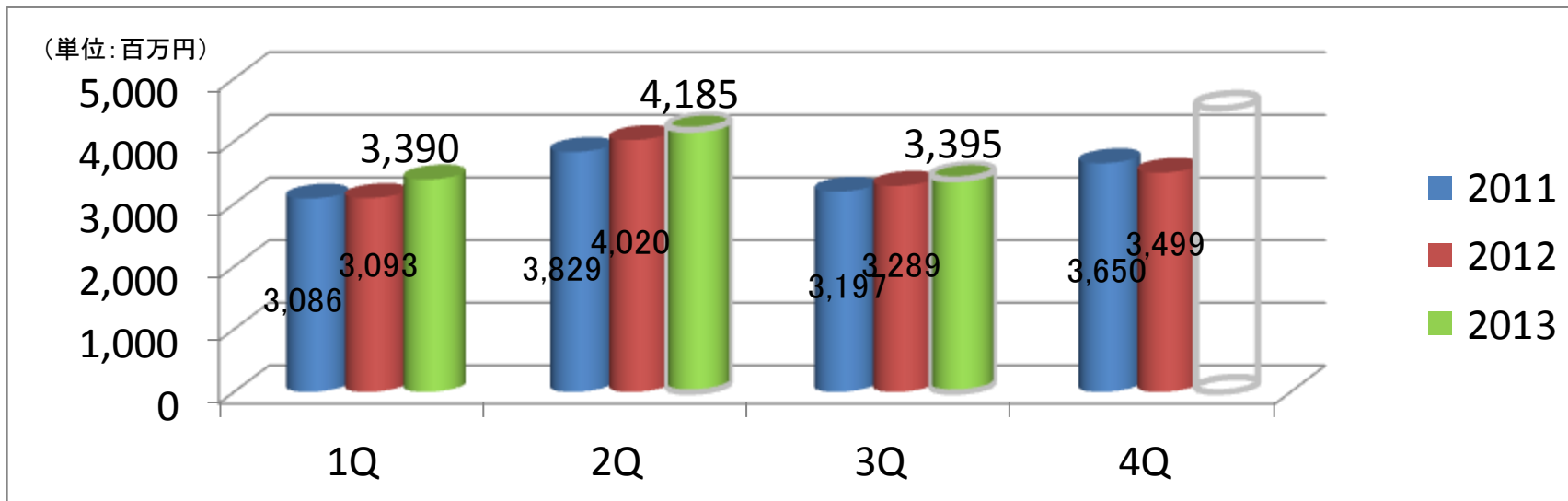
四半期 累計売上高推移

(単位:百万円)

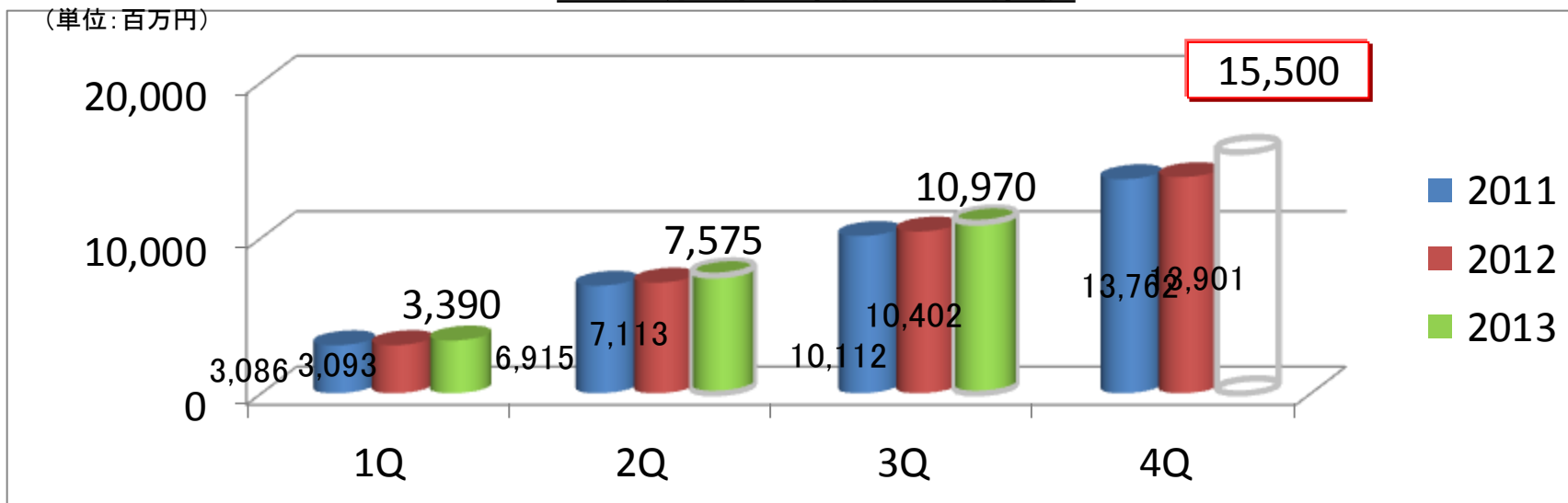


過去3ヵ年の四半期推移：営業利益

四半期 期間営業利益推移



四半期 累計営業利益推移



2014年2月期 3Qの主な活動(1)

- 2013年12月20日、**イオンモール幕張新都心オープン**
イオンのフラグシップ店に**総合FMSを提供**

提供メニュー

設備管理、清掃、常駐警備・交通警備・臨時警備(イベント発生時)、自販機管理、館内配送 etc.



敷地面積:約192,000㎡

延床面積:約402,000㎡(※立体駐車場含む)

2014年2月期 3Qの主な活動(2)

静岡県菊川市に、2ヶ所合計16.9メガワットのメガソーラー設置に参画。リサイクルワン(株)他数社とのJVにより、太陽光発電の管理運用専門の新会社を設立。(売電事業開始 2015年2月)
再生可能エネルギーメンテナンス市場を視野に、発電効率に影響する周辺設備のメンテナンス業務を受託

【イメージ図】



株式会社菊川石山ソーラー



株式会社菊川堀之内谷ソーラー

アジアでの市場創造 ～総合FMS アジアNo.1企業へ～

中国

エリア戦略（地域合併戦略）により、展開エリアを堅調に拡大
（北京・天津・広東省・江蘇省・湖北省）

イオングループ外96ヵ所を含む累計134ヵ所にサービスを提供

専門性の強化を目的に、蘇州にて昇降機の合併会社を設立

- ▶ 単体経営から連邦制経営へ ホールディングス機能の構築を目指す
- ▶ 省エネ・昇降機など、事業の専門化により他社との差別化を図る
- ▶ 業務の標準化と人材教育の強化により、品質向上を図る



マレーシア

12月、訪日されたマレーシア国際通商産業大臣と会談

12月、イオングループ外初の商業施設を受託 サービスの提供先を累計55ヵ所に

- ▶ 省エネ、清掃、自販機を中心に総合FMS事業の展開を目指す



ベトナム

ベトナム最大級のモール型大規模商業施設

「イオンモールタンフーセラドン」（イオンベトナム1号店）に
サービスを提供（2014年1月1日ソフトオープン、1月11日グランドオープン）



- ▶ 事業基盤の構築を推進



2014年2月期 4Q以降の取り組み

■ 新中期経営計画(2014-2016)の策定、及び実行に向けた取り組み

～ファシリティマネジメント業界の新しいニーズの対応に向けて～

- ・ 生活空間の衛生、清潔を担保する清掃ソリューション
国内清掃事業No.1 の事業規模とノウハウを活かし、除菌や殺菌といった空間洗浄を含む「**衛生清掃**」への進化を目指した研究、調査を実施
- ・ 建物管理で培われたノウハウとBEMSをはじめとした省エネシステムの融合により、独自の「**エネルギーソリューション**」構築に向けた取り組みを推進
 - ITを駆使した機器の自動制御、受託施設の集中管理に向けた取り組み
 - 常駐管理から遠隔監視へ、**エリア管理**の実証事業
 - **管理一体型ESCO事業**への挑戦

➡ さらなる飛躍へ向けて、事業領域（ドメイン）を再定義
2014年4月に新たな中期経営計画（2014-2016）を発表予定

2014年2月期の業績見通し

単位:百万円

	2014年2月期通期予想			2013年2月期実績	
	金額	売上比 (%)	前年比 (%)	金額 (実績)	売上比 (%)
売上高	260,000	100.0	104.5	248,876	100.0
営業利益	15,500	6.0	111.5	13,901	5.6
経常利益	15,500	6.0	111.6	13,892	5.6
当期純利益	8,300	3.2	110.5	7,509	3.0

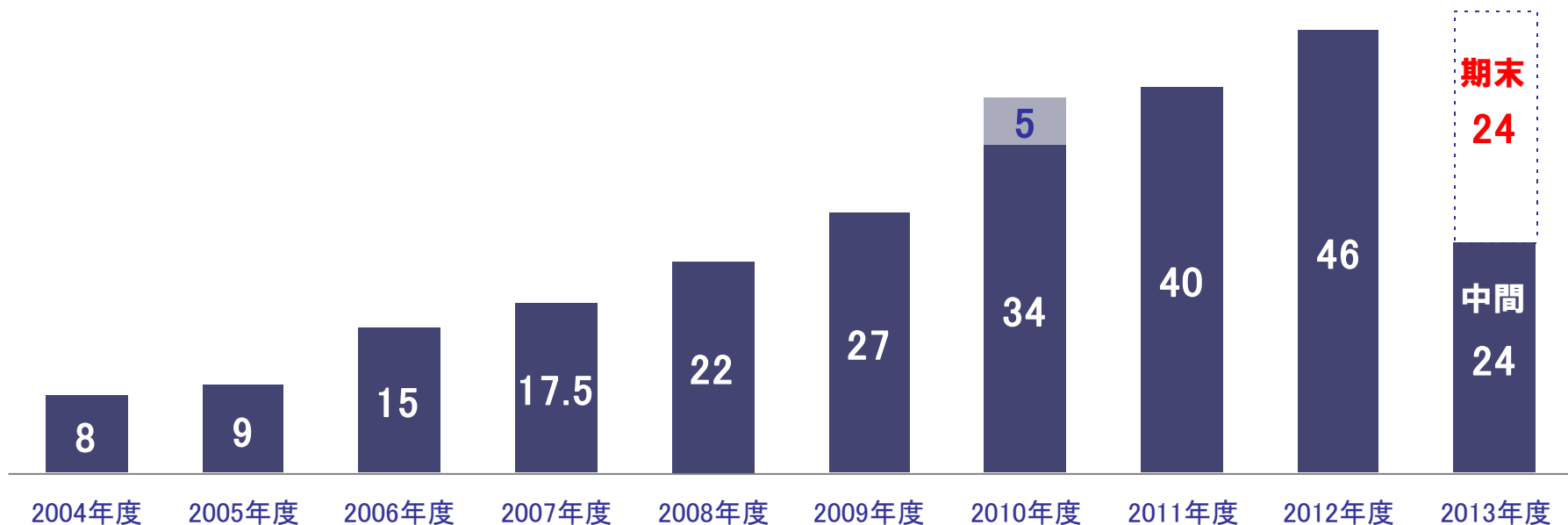
売上総利益率**1.0**ポイント以上回復

株主還元

2005年度以降**9期連続**の増配を目指します

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
配当額	8.0円	9.0円	15.0円	17.5円	22.0円	27.0円	39.0円	40.0円	46.0円	48.0円

■ 配当金 ■ 記念配当 □ 配当予想



※当社は2007年12月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。2004年度期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の配当金額です。

※2010年度の期末配当には、記念配当5.00円を含んでおります。

当社のコーポレートサイトが、 日興アイアール、大和アイアールの2つの賞を取得！

■日興アイ・アール株式会社「2013年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」の総合ランキングにおいて、最優秀サイトを受賞。



■大和インベスター・リレーションズ株式会社「2013年インターネットIR表彰」において、優良賞を受賞。



ご意見・ご質問につきましては、下記にお願いいたします。

■この資料には、イオンディライトの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。

◇これらの記述は、過去の事実だけではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定にもとづく見込みです。そのため、実際の業績は見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。

■資料中、特に注記がない場合を除き下記の方法により記載しております。

◇全て連結を対象として記載

◇記載金額は百万円未満を切り捨て

◇比率は小数点第2位を四捨五入

イオンディライト株式会社
(証券コード:9787)

IR担当連絡先

部署名:コーポレートコミュニケーション本部

責任者名: 高橋(タカハシ)

TEL 043-351-2563

又は、ホームページよりお問い合わせください。

<http://www.aeondelight.co.jp>

本日、ご説明した内容につきましては発表日当日(2013年11月30日)に入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により業績予測につきましては、変更する場合がございます。